



とく
＼ みんなで取り組もう！ ／

ときがわ しょうないがわ
土岐川・庄内川の

りゅう いき ち すい
流域治水

かりゅういきへん
下流域編



年

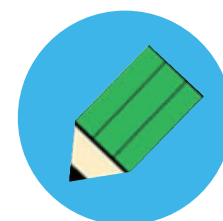
組

なまえ

目次

- 1 わたしたちの土岐川・庄内川流域 1
(1) 土岐川・庄内川ってどんなところ? 1
(2) 「流域」ってなに? 5
(3) 庄内川下流域の特徴 7
- 2 水害時における危険 10
(1) 東海豪雨ではどんなことがあった? 10
(2) この地域ではどんな水害に気を付けたらいいの? ... 17
- 3 水害時にわたしたちがとるべき行動 22
(1) 水害がおこるまでの身の周りの変化 22
(2) おうちの人と調べてみよう 25
- 4 みんなで取り組む水害へのそなえ 32
(1) みんなで取り組む「流域治水」 32
(2) 地域の人との助け合い 37

この本の見方



ことば い み
言葉の意味を
し
知ろう

そのページで学ぶ言葉の意味を説明しています。



かんが
考えてみよう

じぶん
自分で、あるいはおうちの人と かんが
考えてみましょう。



し
もっと知ろう

じゅぎょう まな かんけい と あ
授業で学ぶことに関係することを取り上げて
います。時間があるときに読んでみましょう。

かんが
考えてみよう

みなさんは川へ遊びに行ったことはありますか。
川はどのようなことに利用されているでしょうか。

(1) と き がわ しやうないがわ
土岐川・庄内川ってどんなところ？

と き がわ しやうないがわ ぎふけん え な し
土岐川・庄内川は、岐阜県恵那市の
ゆうだちやま なが ぎふけんない ぼんち
夕立山から流れはじめ、岐阜県内の盆地
なが あいちけん へいや なが いせわん
を流れ、愛知県の平野を流れて伊勢湾に
なが
流れこみます。

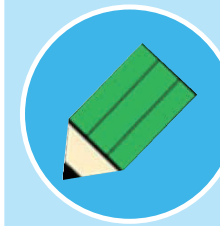
しやうないがわ むかし なが ばしよ
庄内川は、昔は、流れている場所の
ちめい なま え どういつ しやうないがわ
地名でそれぞれ呼ばれていました。明治
じだい 時代になまえを統一して「庄内川」となっ
たようですが、いまでも、ぎふけんない
「土岐川」と呼ばれています。

かわ しゅうへん かりゅういき な ご や し
川の周辺には、下流域に名古屋市や
かすがいし せとし ちゅうりゅういき たじみし
春日井市や瀬戸市、中流域に多治見市
など、たくさんの人や企業などが集まる
ちいき おお
地域が多くあります。

おも かわ ひょうじ
※主な川のみ表示しています



ことば い み し
言葉の意味を知ろう



じょうやくしつち
ラムサール条約湿地

「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地

に関する条約（ラムサール条約）」の締約国が指

定し、管理する湿地



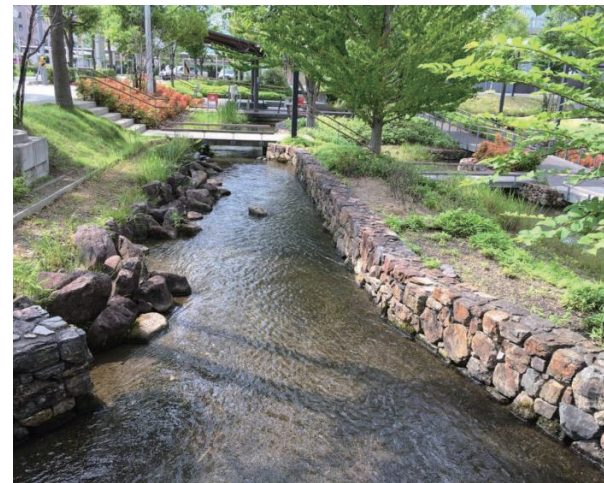
参考：環境省 ラムサール条約と条約湿地 <https://www.env.go.jp/nature/ramsar/conv/index.html>

土岐川・庄内川は、地域によってさまざまな利用をされています。

古くから農業や工場などで水を利用しているほか、中・上流域の水力発電所では電気を作るために水が使われています。

公園や花火・お祭り・水遊び・自然観察場として利用されるほか、生きものにとっての大切なすみかにもなっています。

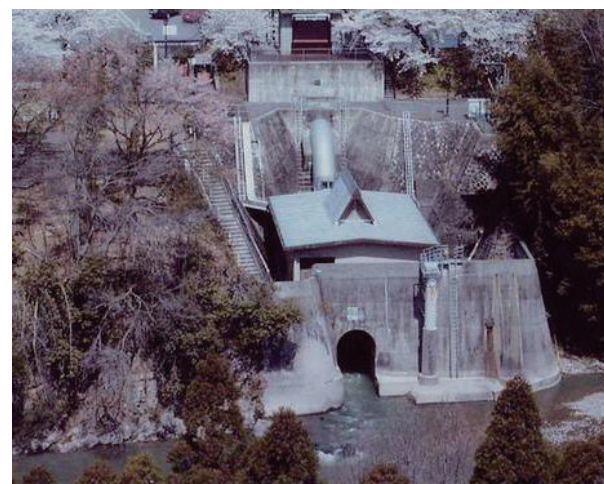
とくに河口の藤前干潟は、水鳥であるシギ・チドリ類が渡ってくる日本最大級の重要な湿地で、ラムサール条約湿地に登録されています。



こけいようすいひろば たじみし
虎溪用水広場(多治見市)
出典：虎溪用水広場ホームページ



おりがわ えなし みずなみし
小里川ダム(恵那市・瑞浪市)



たまのすいりよくはつでんじょ かすがいし
玉野水力発電所(春日井市)
出典：春日井市ホームページ



しょうないようすいとうしゅこう なごやし
庄内用水頭首工(名古屋市)



おりべ ときし
織部まつり(土岐市)
出典：土岐市



しぜんかんさつ かすがいし
自然観察(春日井市)



しょうないりよくちこうえん なごやし
庄内緑地公園(名古屋市)
出典：庄内緑地グリーンプラザ



ふじまえひがた なごやし
藤前干潟(名古屋市)
出典：名古屋市ホームページ

と き がわ しょうないがわ せいかつ い もの
土岐川・庄内川はわたしたちの生活や生き物
ゆた めぐ
に豊かな恵みをあたえているんだね。
がっこう いえ ちか
わたしたちの学校や家の近くでは、どのような
けしき
景色がみられるかな。





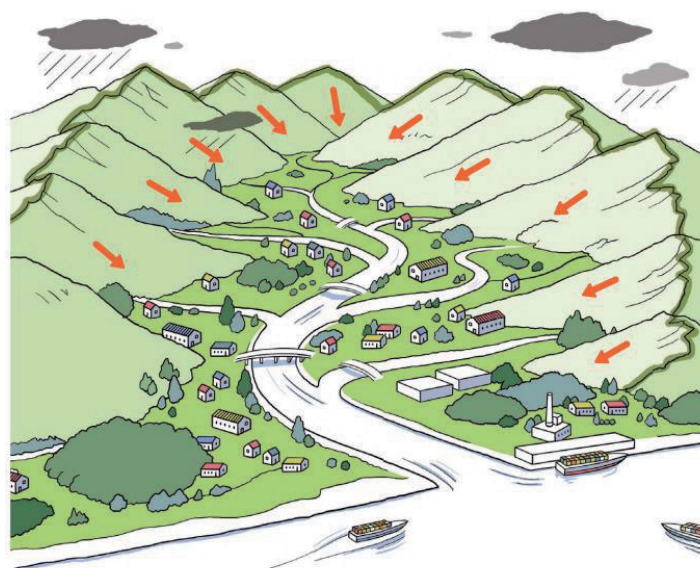
(2) 「流域」ってなに？

地上に降った雨や雪は、地中にしみこんだり、水路や小さい川などに流れこみ、やがて大きな川に集まって、海へ流れていきます。

海や川などの水面で温暖められた水は空にのぼって雲になり、また雨や雪となって地上にふることを繰り返しています。このことを「水循環」といいます。



出典：政府広報オンライン
(<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201507/4.html>)



「流域」のイメージ
出典：水害に関するワンポイント（令和4年3月改訂版）/国土交通省
(<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/guide.html>)

「流域」は、海まで続く大きな川に、水が集まってくる範囲のことです。

水は、高い場所から低い場所へ流れます。そのため、水が集まる「流域」の範囲は、山の尾根などの地形で決まります。

くわえて、雨水が流れている水路や下水道などがどの川へ繋がっているかによって、水の集まる範囲が決まります。



4年生の理科で勉強する「天気」や、社会で勉強する「飲み水」や「下水道」などにも関係しているよ。

また、川に関係する地域として、洪水で川からあふれた水が到達する可能性がある地域を、「流域」に含む場合もあります。

「流域」は、「県」や「市」などの境界をこえた、「その川に関わる地域全体」のことなのです。

「土岐川・庄内川流域」は、愛知県と岐阜県にまたがる、1,010 km² にもおよぶ広さの地域を指します。

土岐川・庄内川流域の範囲



山の位置などで流域の範囲が決まるんだ！



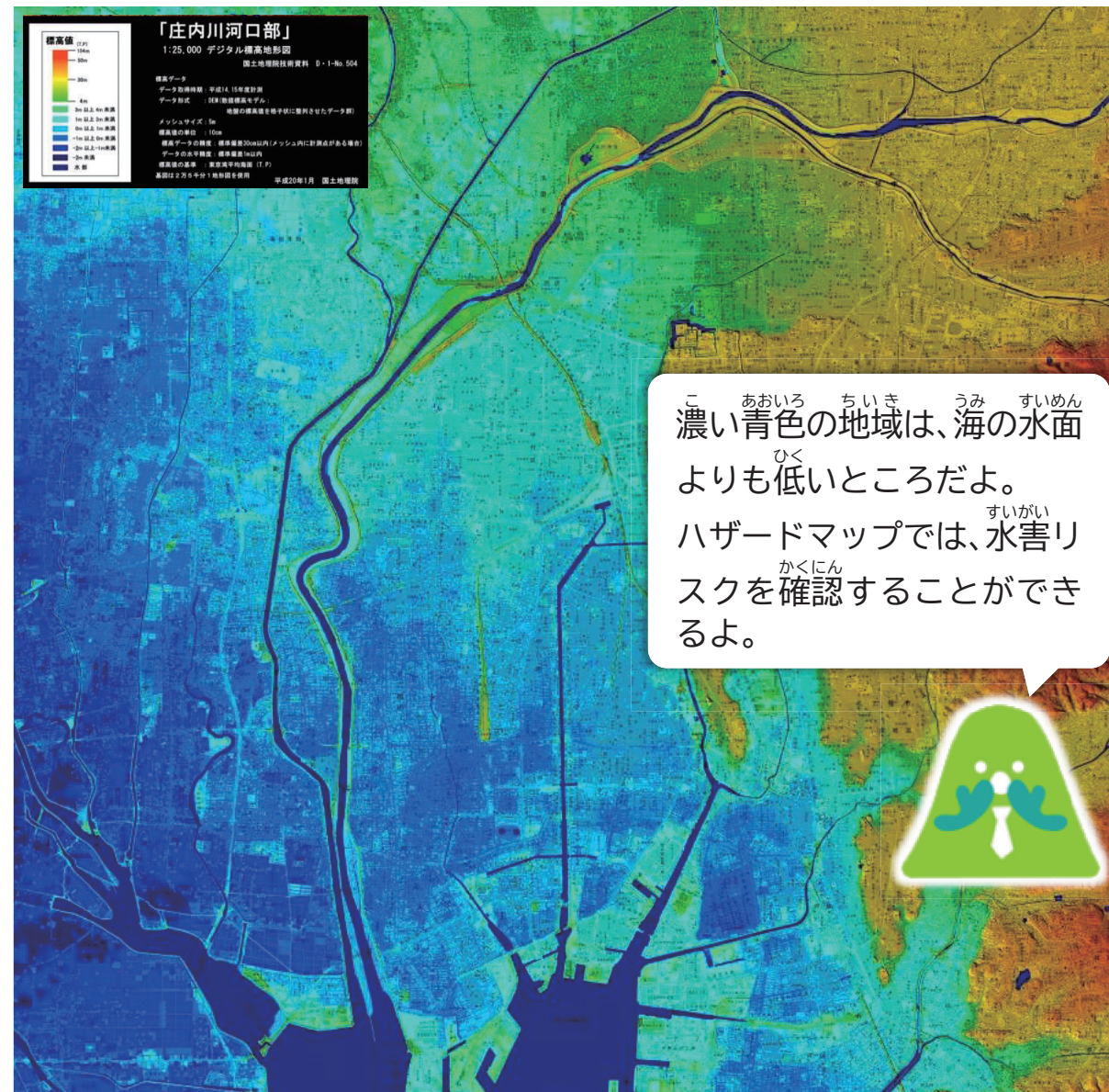


しやうないがわりゅういき とくちやう (3) 庄内川下流域の特徴

と き がわ しやうないがわ じやうりゅういき けいこく やま かわ ところ
土岐川・庄内川は、上流域は溪谷（山にはさまれた、川のある所）を
なが ちゅうりゅういき ぼんち かこ ちけい なが かりゅういき へいや だいち
流れ、中流域では盆地に囲まれた地形を流れ、下流域では平野や台地の
あいだ ぬ へいや なが
間を抜けて平野をゆるやかに流れています。

かりゅういき とくちやう
ここでは、下流域の特徴をみていきましょう。

とくちやう うみ ひく へいや そ なが 特徴① 海よりも低い平野に沿って流れている



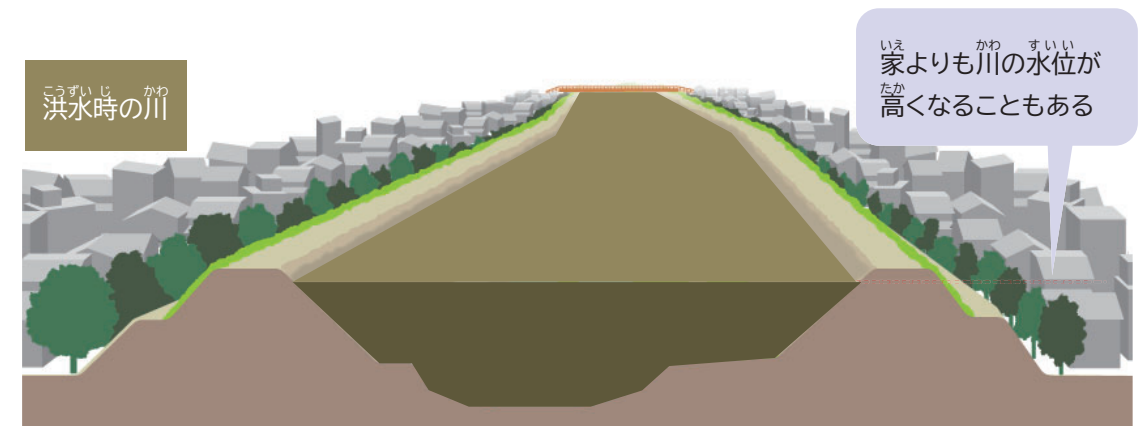
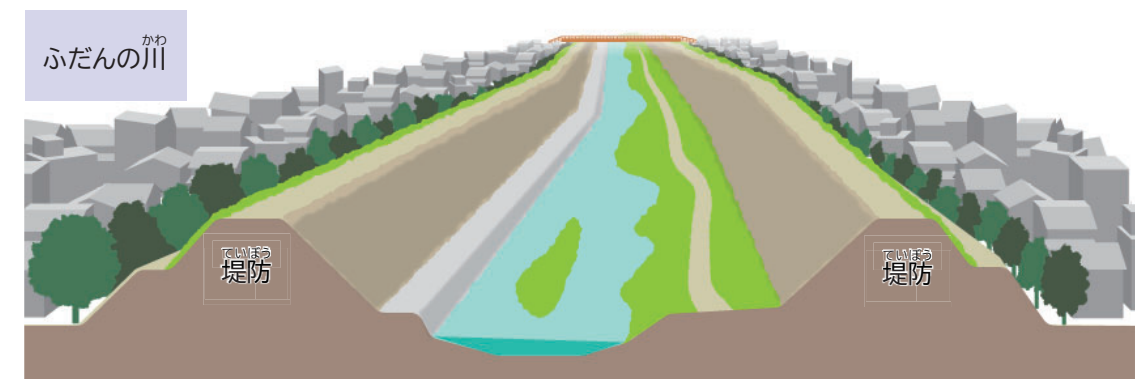
かりゅういき なごやし ひろ はんい いま ねん まえ いせわん うみ
下流域の名古屋市の広い範囲は、今から2,000年くらい前は、伊勢湾の海の
そこ かんが ねんいじやう きそがわ みず はこ
底だったと考えられています。1,000年以上かけて、木曽川の水で運ば
れて来た土や砂で陸地になっていき、江戸時代くらいから人々が海を埋め立
てて新しい土地にしていきました。

ちいき じめん たか ひく とち
そのような地域は地面の高度が低い土地となっています。

とくちやう ていぼう まも 特徴② 堤防で守られている

しやうないがわ まいとし こうずい かわ ちいき おさ
庄内川は、かつては毎年のように洪水をおこすような川で、この地域を治
めることになった江戸時代の徳川家のお殿様が、名古屋城を作るのとあわせ
て、現在の位置に堤防を作るなどの「洪水をふせぐ対策（これを「治水」とい
います）」をはじめたと言われています。

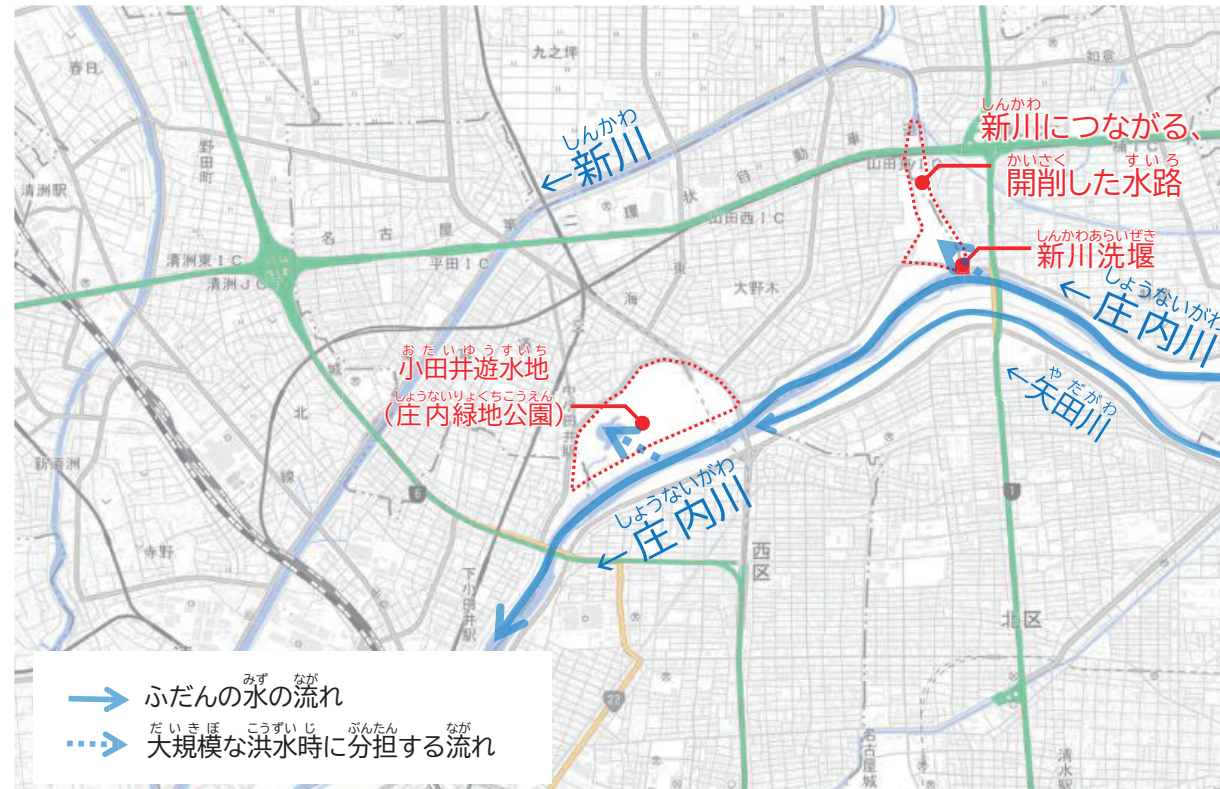
かわ しゅうへん いえ とち ひく あめ
川の周辺の家がある土地が低いので、雨がたくさんふって川の水位があが
てくると、家の高さよりも川の水位が高くなる場合もあります。



とくちょう ③ しんかわ お た い ゆうすいち しやうないりよくち こうずい ぶんたん
特徴③ 新川や小田井遊水地（庄内緑地）と、洪水を分担している

かりゆういき なが みず ていとおお しんかわあらいぜき しんかわ
下流域に流れてきた水は、ある程度多くなってくると、新川洗堰から新川
にも流して分担しています。また、庄内緑地公園のある場所は、かつては
なごやじょうか まも みず ちいき げんざい
名古屋城下のまちを守るためにわざと水をあふれさせていた地域で、現在は
ゆうすいち かりゆういき すいがい まも
遊水地として下流域のまちを水害から守っています。

え ど じ だ い つづ ち い き ち す い ほうほう しやうないがわ
これらは江戸時代から続いているこの地域の「治水」の方法ですが、庄内川
の改修を進めることで、将来的には新川への負担を軽減することになっています。

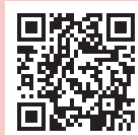


ゆうすいち
遊水地のはたらき

ゆうすいち かわ なが こうずい おお
遊水地は、川を流れる洪水が多いときに、
いちじてき た こうずい
一時的に貯めておき、洪水がおさまってきた
すこ かわ もど しせつ
ら少しずつ川に戻していくための施設です。
おたいゆうすいち こうえん りよう
小田井遊水地はふだんは公園として利用されています。

さんこう：庄内緑地グリーンプラザ <https://shonai-ryokuchi.jp/staffblog/1082/>

し
もっと知ろう



2 すいがい じ き けん
水害時における危険

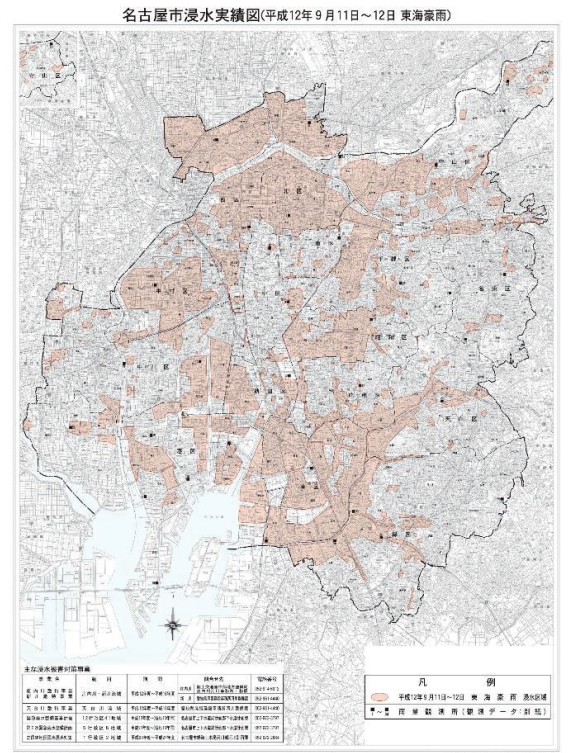
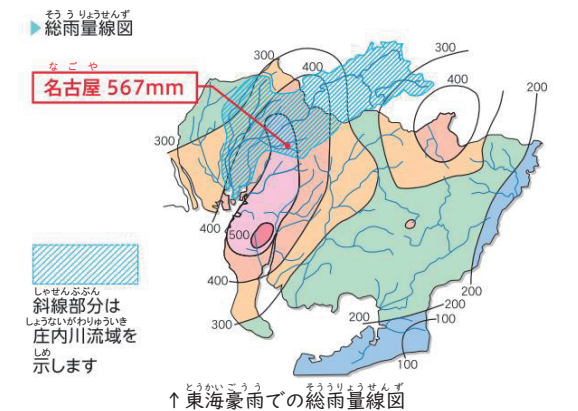


かりゆういき うみ ひく ちいき
下流域は、海よりも低い地域があるんだね！
ていぼう まも しやうないがわ みず ぶんたん
堤防で守られていたり、庄内川の水を分担したりしている
なら、庄内川から水があふれたりすることはないのかな？

とうかいごう
(1) 東海豪雨ではどんなことがあった？

へいせい ねん がつ にち にち
平成12年9月11日から12日にかけて、2日間で1年に降る雨の1/3を超える大雨が降りました。

このとき、庄内川では堤防から水があふれ、新川は堤防が決壊、その他、川に流れこむことができなかった水が下水道や小さい水路からあふれ（「内水はらん」といいます）、名古屋市周辺では約19 km² が浸水、約29,000人の住民が地域から避難し、18,000戸を超える住家が浸水によって被害を受けました
※広い地域で被害があったため、対象範囲や集計方法によって数値は異なります。



とうかいごう なごやし しんすいはん
東海豪雨での名古屋市の浸水範囲→
←愛知県の他の水害時の浸水範囲も確認することができます
愛知県浸水実績図
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kasen/shinsuisiseki.html>

しゅつてん
出典：名古屋市浸水実績図

かんが
考 えてみよう



とうかいごうとう しのりょう
東海豪雨のときの資料をみて、どんなことが起きたのか、
どんなことに困ったか・大変だったかを 考 えてみよう。
(例をみる⇒P38 へ)



しんかわ けっかい か し ょ しんがわ しのりょう
新川の決壊箇所と周辺の浸水の様子

しやうてん さいがいれんどう
出典：災害列島2000/国土交通省 (https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jirei/bousai/saigai/2000/home.html)



ふだんのようす

こうずい
洪水のときはこんな
ふうになってしまう
んだね。



しんかわあらいざき
新川洗堰のようす



ふだんのようす



お たい ぬきすいち しやうないりよくち
小田井遊水地(庄内緑地)のようす



名古屋市区丸野2丁目のようす



西枇杷島町（現清須市）における救助のようす



でんきやガス、トイレもつかえなくなると、なんにちも上の階にいるには準備がいるよね。



名鉄西枇杷島駅のようす



名鉄新名古屋駅（現名鉄名古屋駅）の改札口周辺で一夜を明かし、運転再開を待つ人々
出典：災害列島2000/国土交通省（https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jirei/bousai/saigai/2000/home.html）



ほかの地域からも、名古屋に仕事・学校・観光できている人はたくさんいるよね。そういう人たちも帰れなくなってしまうんだね。

もっと知ろう



大雨ってどんなとき？

台風が近づいているときなど、テレビなどで「明日は猛烈な雨になるおそれがあります。できるだけ外出はひかえましょう。」というアナウンスを聞いたことはありませんか。

テレビなどでの雨の表し方は、下の表の通りに決まっています。

例えば、「1時間雨量20mmの雨」とは、「降った雨がそのままどまった場合、1時間で20mmの深さまで雨がたまること」を示します。50mmをこえるとひじょうに危険です。

1時間雨量 (mm)	予報用語 (人のうけるイメージ)	人への影響	屋内	屋外	車に乗っていると
10～20	やや強い雨 (ザーザーとふる)	地面からはね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声がよく聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20～30	強い雨 (どしゃぶり)	かさをさしていてもぬれる		ワイパーをはやく動かしても見づらい	
30～50	はげしい雨 (バケツをひっくりかえしたようにふる)		寝ている人のおよそ半数が雨に気づく	道路が川のようになる	スピードをあげているとブレーキがかかりにくい
50～80	ひじょうに はげしい雨 (滝のようふる)	かさがまったく役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80～	もうれつな雨 (息苦しさ、恐怖を感じる)				

出典：雨の強さと降り方/気象庁ホームページを参考で作成

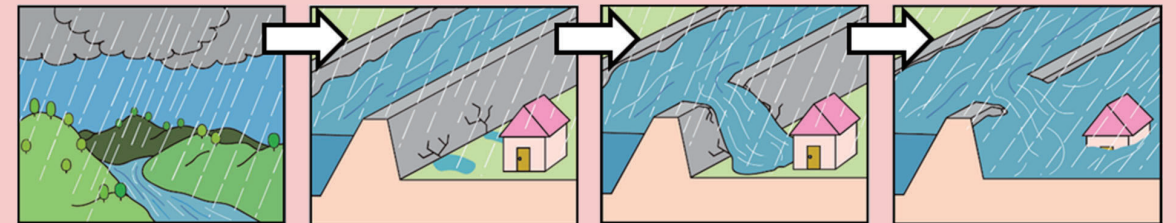


もっと知ろう



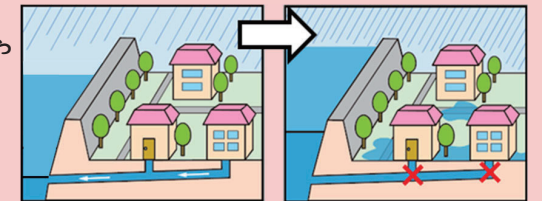
水害はどうやっておこるの？

川を流れる水の量が多くなると、堤防から水があふれてきたり、堤防がこわれてまちに水が流れてきます。これを「外水はらん」といいます。

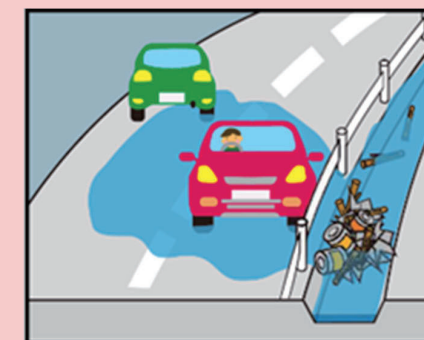


ふだんは、街中に降った雨は、水路や下水道などを通して川に排水されます。

しかし、大雨が降ると川の水の量が多くなり、川の水位が高くなって、街中の水が排水できなくなってあふれてしまうことがあります。これを「内水はらん」といいます。



「内水はらん」は、川とは関係ない場所でも、排水溝にゴミがたまったり水が流れなくなってしまい道路に水があふれるなどしておこることもあります。道路や鉄道の高架下など、道路が低くなっているところに雨水がたまることもあります。





(2) この地域ではどんな水害に気を付けたらいいの？

かんが
考えてみよう



水害は種類がいくつかあります。それぞれの危険な場面の例をみて、どんな危険があるか、どんな違いがあるか考えてみましょう。

(例をみる⇒P38へ)



内水はんらん

強い雨が降ったときに、街中の水が排水できなくなってあふれてしまうことを内水はんらんと言います。

都市部では、ふだんの雨で道路や街中に水がたまらないように、「下水管に早く雨水を流し、川へ排水する仕組み」があります。



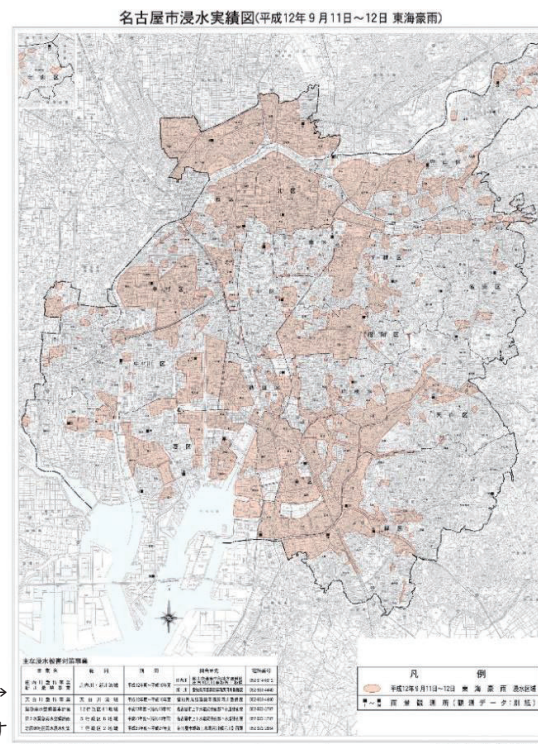
←低い道路が浸水し、車が水没した様子

出典：国土交通省関東地方整備局千葉国道事務所 X (旧 twitter)



←地下鉄駅への階段で勢いよく水が流れこむ様子

出典：福岡水害 (H11.6.29) / 九州地方整備局
https://www.qsr.mlit.go.jp/bousai/index_c17.html



出典：名古屋市長水害実績図



東海豪雨での名古屋市の浸水範囲→
←愛知県の他の水害時の浸水範囲も確認することができます
愛知県浸水実績図
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kasen/shinsuizisseki.html>



東海豪雨では、川の周辺以外でも浸水したところがあるね。これは内水はんらんでの浸水なんだ。



雨からまちを守る施設(例：名古屋市上下水道局)



名古屋市の庄内川周辺地域では、下水道に流れた雨水は、ポンプで強制的に川に排水しています。また、雨水を一時的に貯める施設もあり、できるだけ内水はんらんが起きないように工夫されています。

参考：名古屋市上下水道局
<https://www.water.city.nagoya.jp/category/saigaisonaie/2170.html>



外水はんらん

川で流すことができる量を超えて雨が降ったときに、川の水が堤防を越えたり堤防が決壊したりして、堤防から水があふれだすことを外水はんらんと言います。



平成12年東海豪雨での新川決壊の様子



新川の決壊によりこわれた家
出典：新川破堤の復旧作業/愛知県河川課



内水はんらんの後に続けて、外水はんらんがおきることもあるよ！下流域で雨が降っていなくても、「流域」の中で大雨が降っていると、下流で外水はんらんがおきることもあるよ！



高潮

台風などで気圧が低くなることや強風によって高い波が押し寄せるのが高潮です。昭和34年に名古屋市を中心に大きな被害をもたらした「伊勢湾台風」では、高潮によって海岸の施設が破壊され、貯木場などに置いてあった木材が流され、家にぶつかるなどして被害が大きくなりました。



半田武豊海岸堤防の被害の様子
出典：内閣府 災害教訓の継承に関する専門調査会
＜広報「ぼうさい」＞第20回
(<https://www.bousai.go.jp/kyoiku/kyokun/kyoukunnokeishou/pdf/bs0809.pdf>)



木曽岬村の家屋被害と流木
出典：内閣府 災害教訓の継承に関する専門調査会報告書
(https://www.bousai.go.jp/kyoiku/kyokun/kyoukunnokeishou/rep/1959_isewan_typhoon/pdf/06_chap2.pdf)



津波

地震によって海水が押し上げられ、波のかたまりとなって何度も陸に押し寄せるのが津波です。平成23年の東日本大震災では東北地方の広い範囲を大津波がおそいました。



岩手県久慈市の津波の様子
出典：3.11伝承ロード/東北地方整備局

(<https://www.thr.mlit.go.jp/shinsaidensho/kids-01.html>)



岩手県山田町の津波の様子
出典：山田町



山際や崖などが近いところでは、「土砂災害」にも気を付けよう。家がこわされて、土砂といっしょに流されることもあるよ。

(参考：愛知県土砂災害情報マップ)



もっと知ろう



わたしたちのすむ地域は、昔はどんなところだった？

今は地面になっている場所でも、大昔は伊勢湾の海の底だった場所があります。

埋め立てられた後も、昭和くらいまでは、

- ・川が流れていたところ
- ・沼や池だったところ
- ・田んぼが多かったところ

もあり、このような場所は、水が集まりやすいため、内水はんらんがおきやすかったり、外水はんらんがおきたときに深く浸水したり、洪水の通り道になる場合もあります。

自分たちの住む地域が、昔どんなところだったのかは、地名(水に関係する名前があるなど)でわかる場合もあります。調べてみましょう。



参考：名古屋市地区防災カルテ（地域で、過去におこった災害についての情報もあります）
<https://www.city.nagoya.jp/bosaikikikanri/page/0000110628.html>



参考：愛知県図書館所蔵 絵図の世界（現在の地名から、昔の地図をみることができます）
<https://websv.aichi-pref-library.jp/ezu/public/index.html>

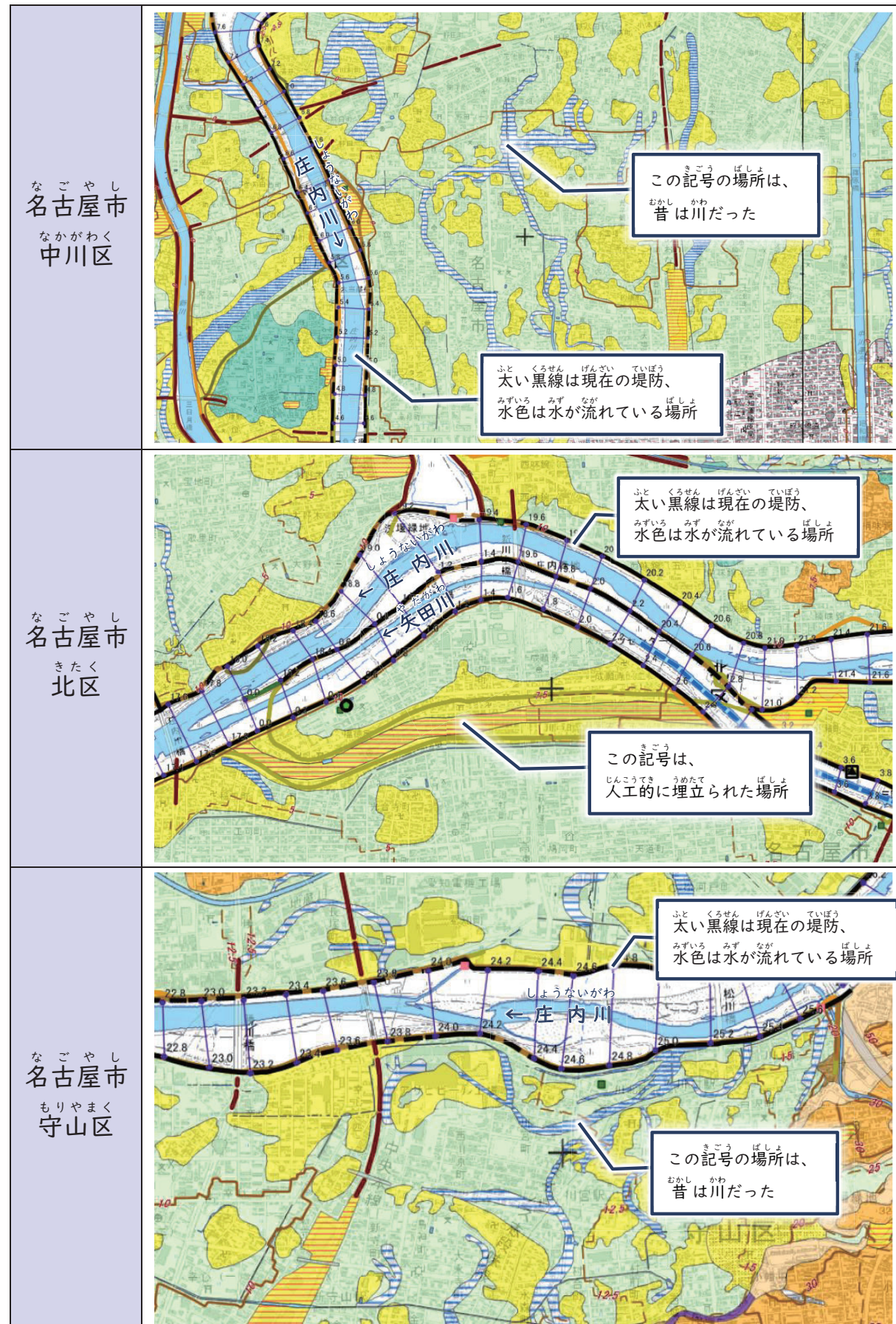


次のページの地図は、庄内川下流域の周りで、昔、川や水の流れがあったような場所を示しているよ。今はどのようになっているかな？

記号	説明	地理院地図での凡例	
	左の記号がある地域は、昔は川だった	旧河道	旧河道（明瞭）
			旧河道（不明瞭）
		旧流路	昭和30年代後半から昭和40年代前半
			昭和20年代
			大正末期から昭和初期
			明治末期から大正末期
	左の記号がある地域は、人工的に埋立などをした	盛土地・埋立地	



参考：治水地形分類図/地理院地図
<https://maps.gsi.go.jp/>



出典：国土地理院ウェブサイト (<https://maps.gsi.go.jp/>)

3 すいがい けん こうどう 水害時にわたしたちがとるべき行動

(1) 水害がおこるまでの身の周りの変化

大雨によっておきる「内水はんらん」は、みなさんが登下校するときや、家で留守番をしているとき、家や学校以外で過ごしているときに発生するかもしれません。

また、「外水はんらん」は、大雨が何時間も続くような場合に、「内水はんらん」の後に続けて発生する場合があります。

万が一のときにそなえて、わたしたちの身に危険があるときにすべきことを考えてみましょう。

かんが
考えてみよう



雨が降ったとき、周りのようすはどのように変化するでしょうか。そして、わたしたちにどのような影響があるでしょうか。

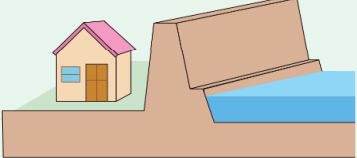
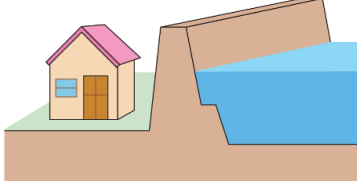

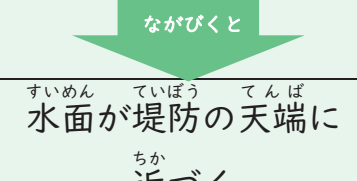

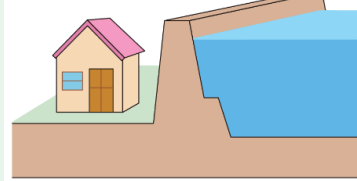



次のページをみて、わたしたちがとるべき行動を考えてみましょう。

【こんなとき、どうしたらよいか？】

おうちの人とも話しあって、一人でのことを決めておきましょう。










- 家にいるときに、「はげしい雨」が降ってきた
- 友達の家や習い事など、家以外で、「はげしい雨」が降ってきた
- 外にいるとき、いつも通っている道に、水がたまっていた

(例をみる⇒P39へ)

雨のようす	川のようす	周りのようす
—	ふだんのようす 	—
ザーザーと降る、 <u>やや強い雨</u>	ふだんより水の量が ふえる 	水たまりができる 
どしゃぶりの <u>強い雨</u>	ながびくと 	道路が川のようになる 低いところで水がたまる 低いところは家の中に 水が入ってくる (内水はらん) 
バケツをひっくりかえ したように降る、 <u>はげしい雨</u>	水面が堤防の天端に 近づく 	家がこわれる こともある まちが浸水する 
滝のように降る、 <u>ひじょうにはげしい雨</u>	あふれる ・堤防がこわれる (外水はらん) 	家がこわれる こともある まちが浸水する 

出典：雨の強さと降り方/気象庁ホームページを参考に作成



わたしたちへの影響	とるべき行動
—	避難の準備をしておく 
外を歩くのがたいへん 	おうちのひと 今後の雨のようすについて 調べる 
足元が見えない 	げんかんが浸水 
マンホールや水路に はまって、おぼれたり 流されたりする 	ドアがあかず、 外に出られない 
今いるところから動けない 	安全なところで、 今後の雨や川のようす について調べる 



(2) おうちの人と調べてみよう

自然災害が発生したときに、どこでどのような被害がおこるかを予測して、地図上に危険な地域や避難場所などを示したものを「ハザードマップ」といいます。自然災害は、地震、津波、高潮、土砂災害、水害（内水はんらん・外水はんらん）などさまざまですが、それぞれの災害についてハザードマップが多くの自治体で作られています。

※ハザードマップは自宅に市町村から配布されることが多いですが、ハザードマップポータルサイトから確認することもできます。



※名古屋市では、「なごやハザードマップ防災ガイドブック」として、それぞれの災害のハザードマップと、防災情報や日ごろからのそなえなどをまとめた「防災ガイドブック」、住民一人ひとりの防災行動計画を時系列に整理できる「わが家のマイ・タイムライン」、各区の防災における特色を示した「区防災情報」を作成し、各家庭に配布するとともに、インターネットでも公開しています。



出典：なごやハザードマップ防災ガイドブック



地域の内水・洪水ハザードマップを見ながら、身の回りの危険な場所を確認しましょう。
※洪水ハザードマップは、外水はんらんを想定したマップです。

【ハザードマップでの確認手順】

- ① 学校・自宅・よく行く場所（習いごと、近くの親戚の家、よく遊びに行くところなど）に印をつけましょう。
- ② ①で印をつけたところは、水害によって建物がたおれるおそれがある地域（家屋倒壊等氾濫想定区域）に入っていますか？

種類	はんらんりゅう 氾濫流	かかんしんしょく 河岸浸食
説明	川からあふれた水のいきおいで、建物が流されるおそれがある場所	建物の土台部分がけずられて、建物がたおれるおそれがある場所
しるし	かさ重なるハザードマップでの表示 名古屋市洪水ハザードマップでの表示（区別をしていません）	
例	平成30年（2018年）7月豪雨 愛媛県大洲市東大洲	平成24年（2012年）7月豪雨 大分県日田市三和地区

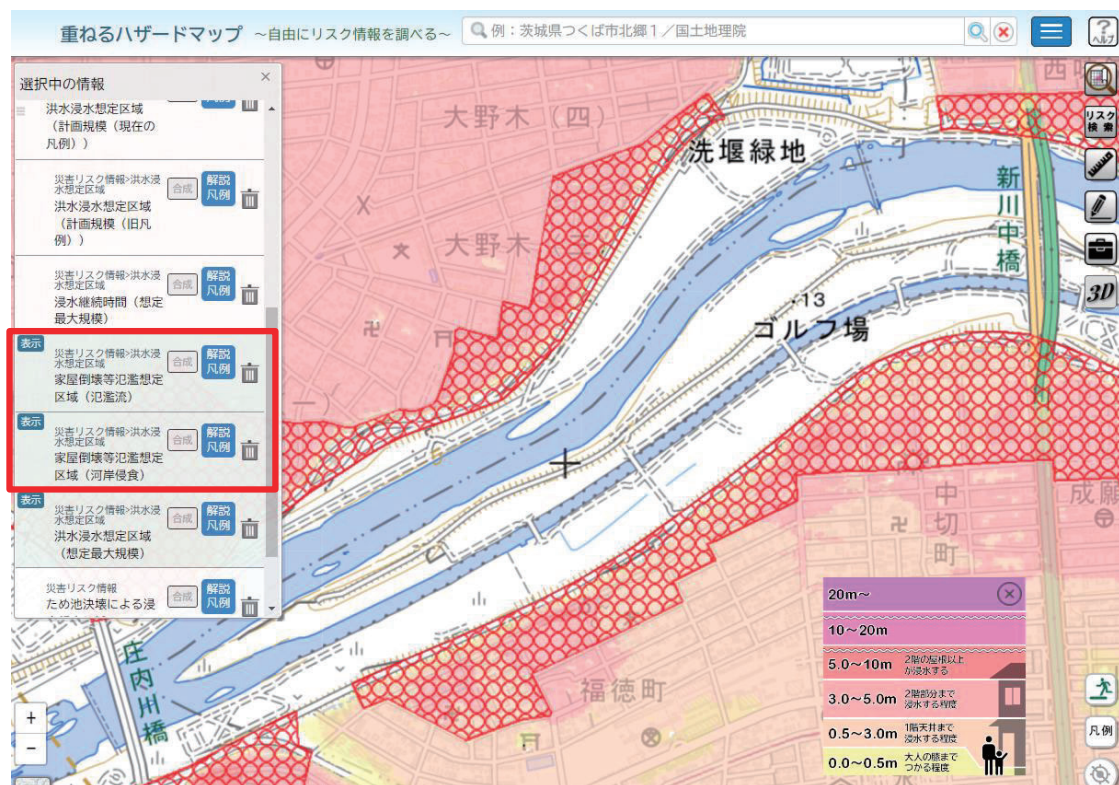
出典：国土交通省 四国地方整備局

出典：平成24年7月3日からの梅雨前線豪雨による被害と九州地方整備局の対応/国土交通省



※山際の場合は、土砂災害ハザードマップや、「愛知県土砂災害情報マップ（参考P19）」も確認しましょう。危険な区域内では、土砂災害で家がこわれる可能性が高いです。

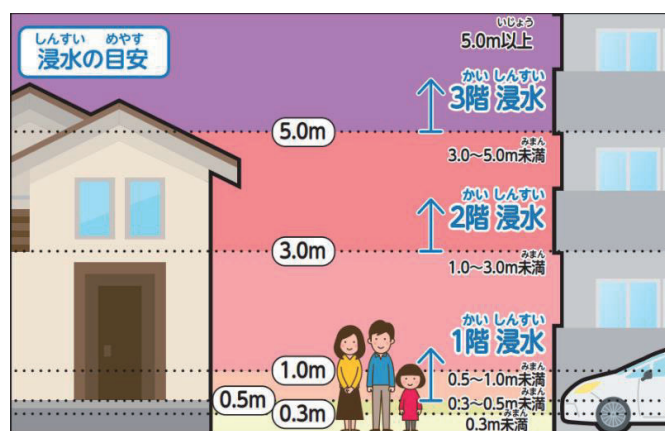
※市町村の洪水ハザードマップに、記載がない場合は、重ねるハザードマップでも確認してみましょう。



出典：「ハザードマップポータルサイト」を編集

③ ①で印をつけたところは、水につかりますか？どのくらいの高さまでつかりますか？

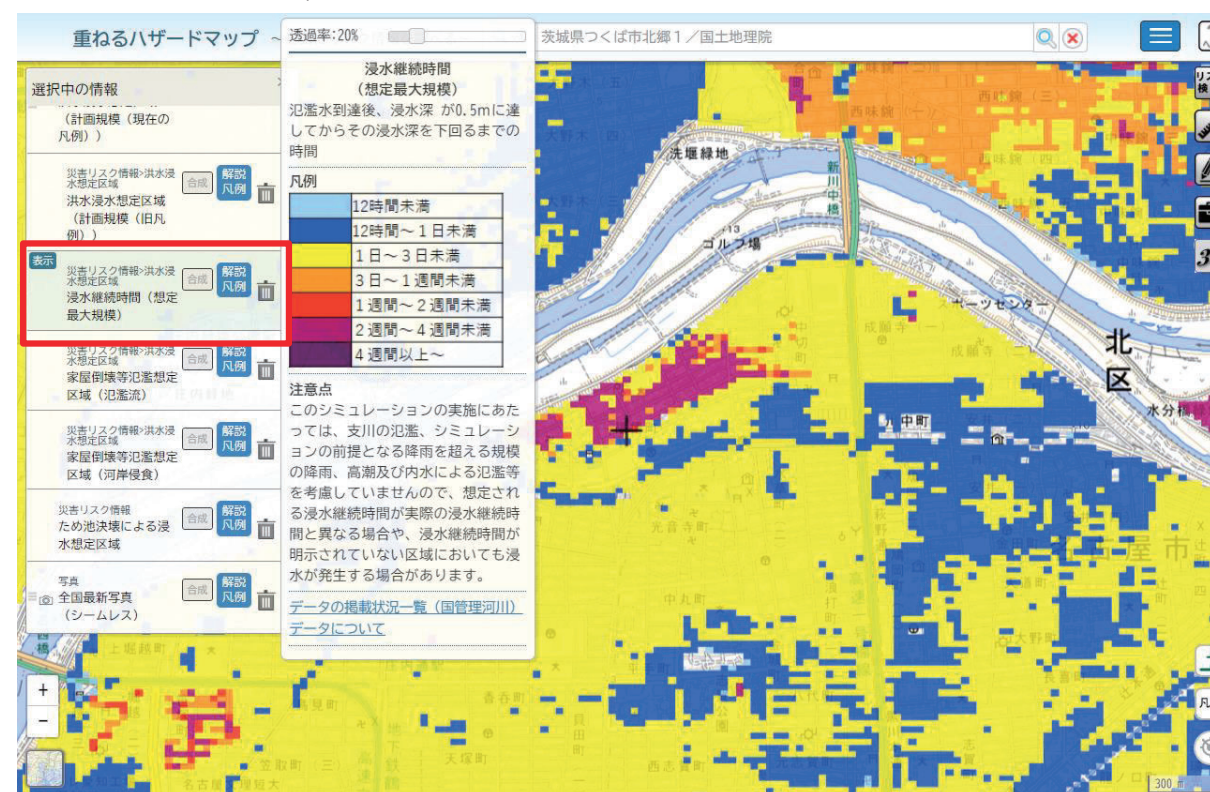
※市町村によって、洪水ハザードマップの浸水する深さを示す色や高さは違っていています。それぞれのハザードマップの説明をよくみて確認しましょう。



例) 名古屋市の洪水ハザードマップの色の示し方
出典：名古屋市ホームページ

④ ①で印をつけたところは、どのくらいの期間浸水しますか（浸水継続時間の図で確認しましょう）？

※市町村の洪水ハザードマップに、記載がない場合は、重ねるハザードマップでも確認してみましょう。





出典：「ハザードマップポータルサイト」を編集

⑤ ②から④までの結果をみて、①の場所は、大雨のときにとどまっても（あとに外水はらんがおきても）安全な場所か確認しましょう。

※たてものがこわれる可能性があるところや、長い期間浸水する可能性があるところでも、学校のように大きく頑丈な建物や、数日間過ごすせる備蓄品（水・食料や毛布など）が準備されているところは、大丈夫なところもあります。各災害の避難場所に指定されている場合は、無理に移動しないほうが安全です。

- ⑥ ④で、危険な場所である場合は、避難先として安全な場所をさがしましょう。

例：名古屋市の避難場所・避難所のマークと意味

	<p>していきんきゅうひなんばしよ 指定緊急避難場所</p> <p>いのち まも さいがい きけん に 命を守るため、災害の危険からまずは逃げるための場所</p> <p>さいがいないよう あんぜん こと ※災害内容によって安全なところは異なる</p>
	<p>していひなんじよ 指定避難所</p> <p>じたく ひさい きたく ばあい ひなんせいかつ おく 自宅が被災して帰宅できない場合、避難生活を送るための場所</p>

※自治体によって異なるマークを使用している場合があります。
ハザードマップの凡例をよく確認しましょう。

出典：名古屋市HP



危険から逃げるときは、どっちのマークかな？

かんが
考えてみよう



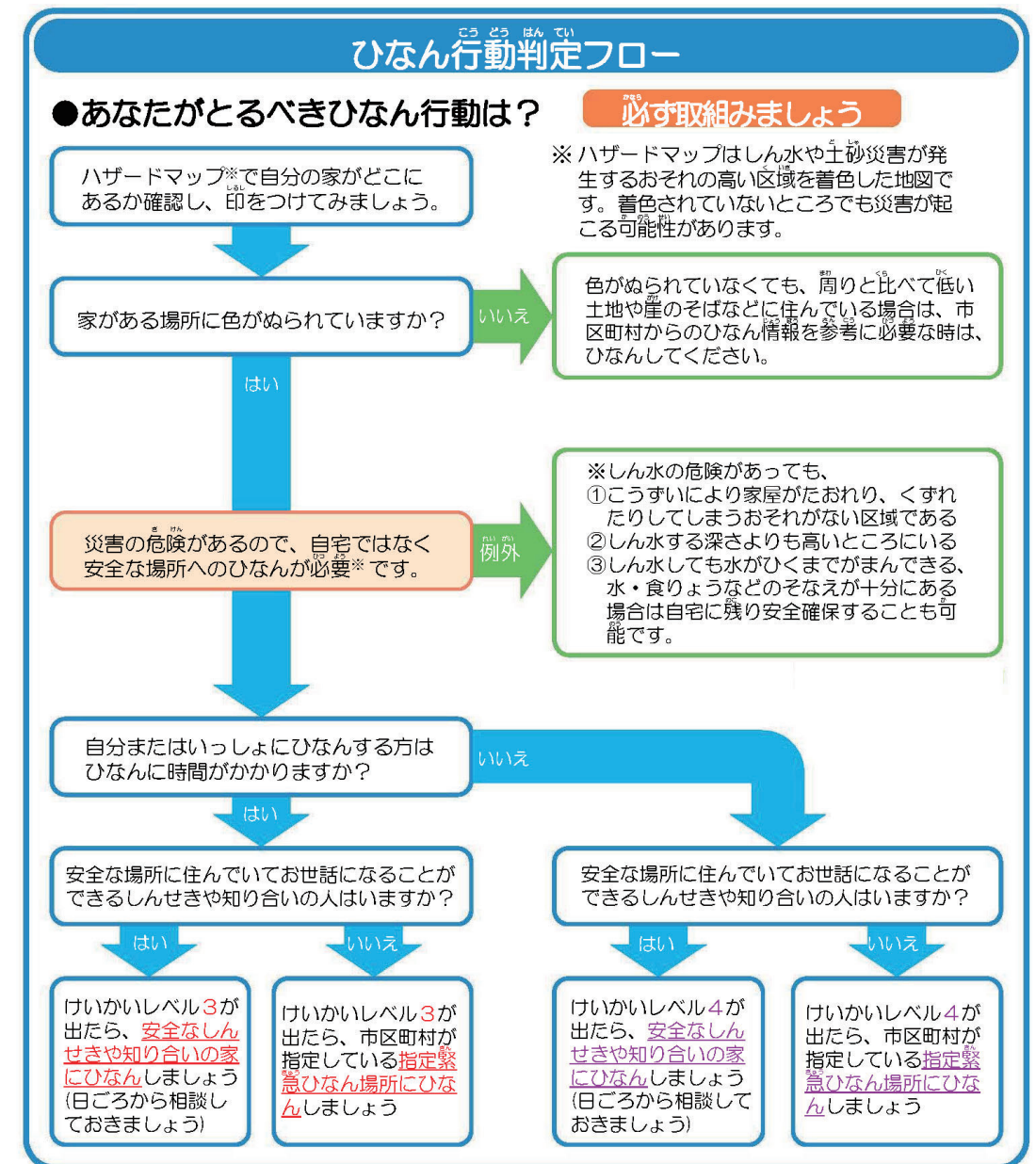
大きな災害のときほど、多くの方が避難場所に逃げてきます。すると、避難場所が満員になってしまい、遠くへ移動することができない人達（移動手段がないなど）が避難することができなくなってしまいます。

みんなが安全を確保するには、どうしたらよいでしょう？



※地域に「避難」の情報が出ていても、安全な地域にいるときや、高いところへ移動すれば安全な場合は、無理に避難場所へ移動する必要はありません。移動途中で、流されたりケガをしたりする危険性もあります。

※ハザードマップにのっている避難場所だけが避難先ではありません。早い段階（道路が浸水していない、雨風が危険ではない時点）で移動できる場合は、他の安全な地域の親戚などの家やホテルなどに身を寄せることも考えましょう。



避難行動判定フロー

出典：内閣府 「避難行動判定フロー」を確認しましょう

(https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h30_hinankankoku_guideline)

もっと知ろう



避難についての情報

災害がおこりそうなとき、市町村長は、地域ごとに「避難情報」を発令します。意味や危険のレベルを知っておいて、避難の目安にしましょう。

警戒 レベル3	高齢者等 避難	「災害が おきるので 逃げる準備を してください」という知らせです。 お年寄りや子ども、逃げるのに時間がかかる人は逃げてください。
警戒 レベル4	避難指示	「大きい災害で とても危ないです。 すぐ逃げてください」という知らせです。みんな、安全な場所にすぐ逃げてください。
警戒 レベル5	緊急安全 確保	「近くで 災害が おきています」という知らせです。 命を守ってください。あなたの家や、近くの家の高い部屋などに逃げてください。外に出ると危ない時は家の中にいてください。

警戒レベルの意味 例：名古屋市防災ガイドライン

マイ・タイムラインを作ろう

どんな状況になったら避難行動をするか決めておけば、いざ危険な状態になったときにも、あわてずにすみません。おうちの人と、どんなときにどんな行動をするか、いっしょに考えておき、常に早めの避難をこころがけましょう。



参考：名古屋市 わが家のマイ・タイムライン（防災ガイドブックに作り方の説明があります）
<https://www.city.nagoya.jp/bosaikikikanri/page/0000154016.html>



参考：愛知県 マイ・タイムライン（ワークシート、手引き、説明資料があります）
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kasen/my-timeline-202212.html>



参考：逃げキッド（全国で利用できるように作られた資料です）
http://www.river.or.jp/jigyo/my-timeline_download.html

4 みんなで取り組む水害へのそなえ

(1) みんなで取り組む「流域治水」

ハザードマップをみると、土岐川・庄内川で外水はんらんがおきると、とても広い地域が浸水してしまうんだね。被害をおさえるために、どんな取組がされているのかな？



外水はんらんがなるべくおきないようにする取組（治水対策といいます）は、これまでは、川を管理する人たちが、川やダムなどの整備をしたり、川の管理をすることが中心でした。川の工事によって、東海豪雨の前よりは安全になりました。しかし、まだまだ川の整備は必要です。

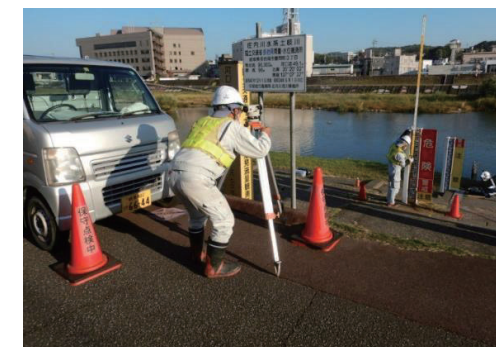


施工前



完成後

堤防の工事（堤防の高さや幅が不足していた箇所を整備）



川の状況を調査（測量）



川の中の土砂をとる工事

4 みんなで取り組む水害へのそなえ

また、大雨のときや水害がおきそうな時には、川を管理・監視する人たち、あふれないように対策する人たち、天気を予想する人たち、避難情報を発令する人たち、情報を伝える人たち、地域の人の避難を手助けする人たちなど、さまざまな人が関わって、被害をおさえたり、命を守るための取組をしています。



川のパトロール（川を管理・監視する人たち）



水防活動（あふれないように対策する人たち）



ダムの管理や操作（川を管理・監視する人たち）



情報を伝える・地域の人の避難を手助けする人たち（自主防災組織）
出典：あいちの自主防災組織「大治町明治町自主防災会」/愛知県

万が一、水害が発生してしまったときには、救助をしたり、まちに入った水を早く排出したり、川や道路をなおしたり、被害をうけた人たちが早く元の生活にもどれるように、たくさんの人たちが、地域のために活動します。



排水作業



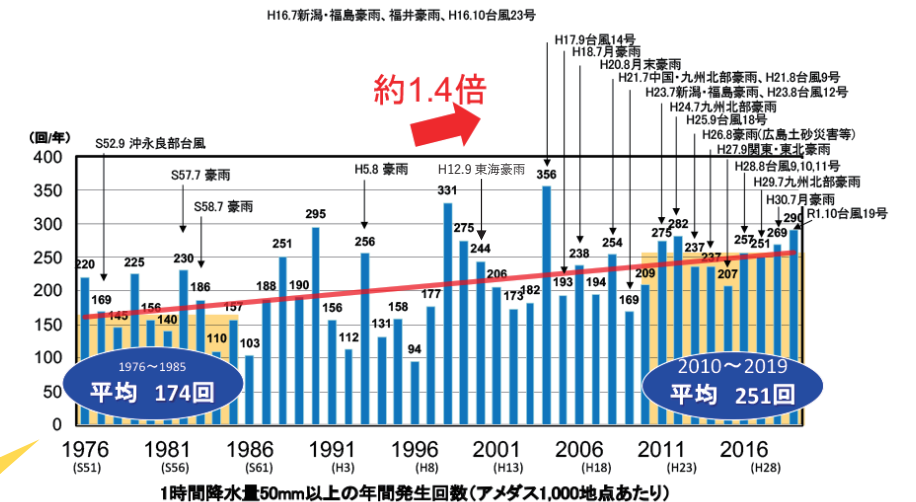
救助や片付けなどの支援活動

4 みんなで取り組む水害へのそなえ



その一方で、最近の雨はひじょうにはげしく、これまでどおり施設だけの取組では、被害が防げません。

「ひじょうにはげしい雨」の回数が、昔よりもふえている！

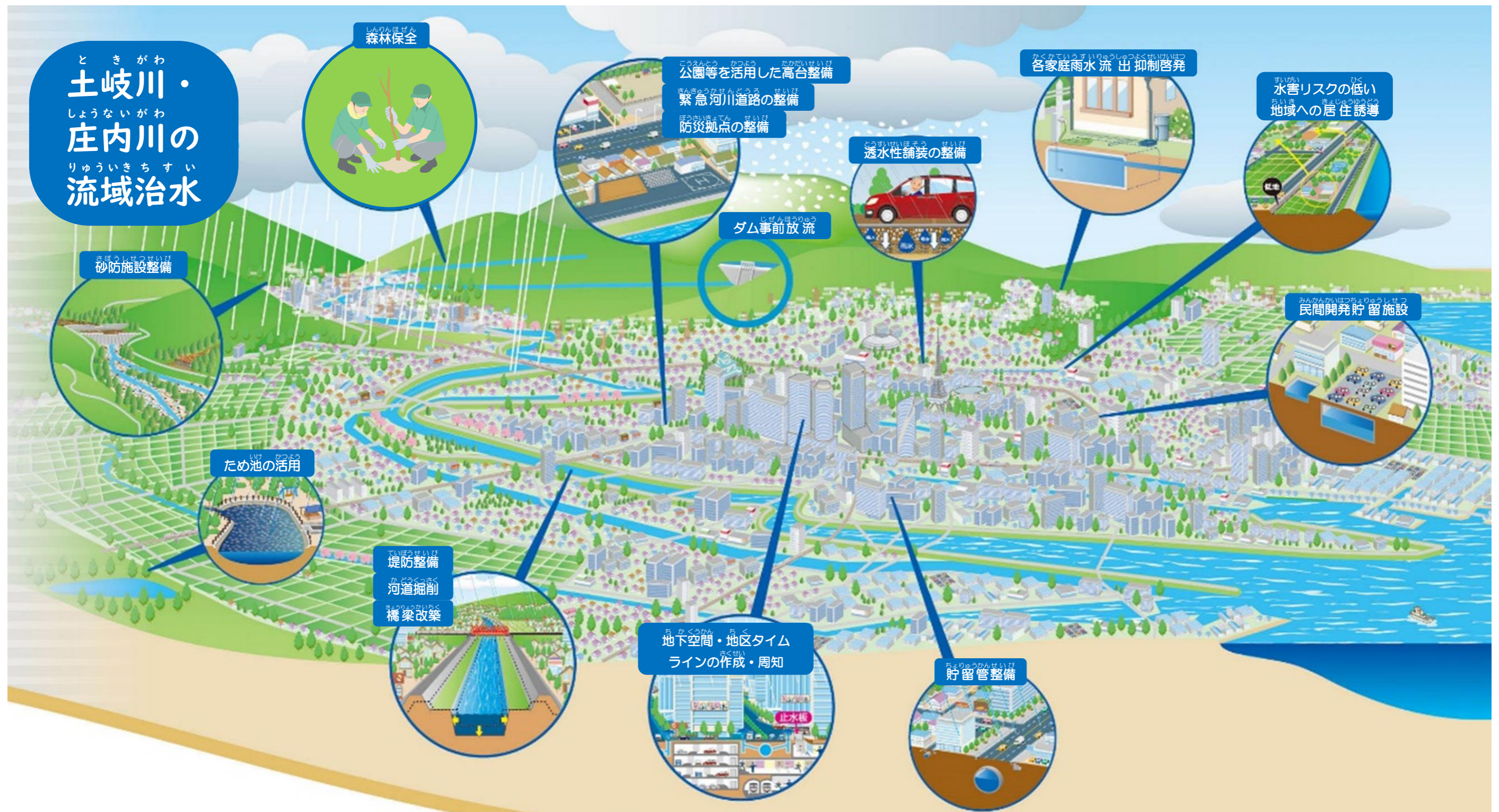


出典：カワナビ/国土交通省（気象庁資料より作成）

(https://www.mlit.go.jp/river/kawanavi/prepare/vol1_1.html)

「流域」にいるみんながいっしょになって、水害にそなえる・水害をへらす取組が必要なのです。この取組を「流域治水」といいます。





流域治水カード

土岐川・庄内川流域のさまざまな流域治水の取組を紹介したカードを、市町村役場や事務所、広報施設などで配布しています。どんな取組があるのか調べてみましょう。

う。

流域治水カードについて：

https://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/bousai/ryuui_kichisui_kyougikai/index.html



もっと知ろう



わたしたちが、家や学校でできる流域治水の取組は何かあるでしょうか？

ヒントは、「ふだん、水を多く使うこと」「水害へのそなえ」「(タンクなど)で雨を貯める」です。

(例をみる⇒P39へ)

考えてみよう



(2) 地域の人との助け合い

ふだんから、地域の人たちのために、防災についての情報を伝えたり、訓練をしたり、準備をしている人たちがいます。地域の訓練に参加したり、おうちの人とハザードマップで確認したり、そなえをしたりする活動は、わたしたちができる「流域治水」の取組の1つです。

また、大雨のときには、さまざまな情報をだしたり、知らせたりする人たちがいます。それらの情報を自分たちで集めにいたり、確認したりして、それぞれが「自分の命を守る行動」をとることも、「流域治水」の取組の1つです。



また、早めに避難行動をとることは、地域で避難の支援活動をしている人たちに協力することにつながります。

高齢者や小さい子どもや赤ちゃんなど、一人で避難することがむずかしい人がいたら、周りの人といっしょに手助けしたり、そのような人たちが近く避難場所で安全を確保するために、移動がしやすい人は少し離れたところで安全を確保するなど、地域の人たちのことを考えることも大切です。

みなさんが将来、どのような地域に住むことになっても、この本で学んだことは、自分や大切な人たちの命を守ることになり、長く住み続けられる地域を作ることにつながります。できるところから、流域治水をはじめていきましょう。

かんがえてみようの例



ここでは、「かんがえてみよう」の例を紹介します。

これだけが正解ということではありません。いろいろなことを想像することが、流域治水の取組を広げることにつながります。

PII 東海豪雨のときの資料をみて、どんなことが起きたのか、どんなことに困ったか・大変だったかをかんがえてみよう。

- とても広い範囲が浸水した
- いつもは公園だったところで水がたまった
- いろいろなものが流されたり、水につかって使えなくなってゴミになった
- 避難できなくなった人、救助された人が大勢いた
- 鉄道や道路が使えなくなって、名古屋に来ていた人も帰れなくなった
- 学校や仕事にいけなくなった
- たくさんの人が駅などで過ごすことになって大変だった（避難場所が人であふれた）

PI7 水害は種類がいくつかあります。それぞれの危険な場面の例をみて、どんな危険があるか、どんな違いがあるかかんがえてみましょう。

- (内水はんらん) 道路の低いところに車が入ってしまい、おぼれる
- (内水はんらん) 水路や足元がみえずに、ころんだり流されたりする
- (外水はんらん) 家がこわれる
- (高潮) 海からはなれたところでも被害がでる (川をのぼってくる)
- (津波) 川をのぼってくる
- (津波) 地震は突然発生する





P22 ^{あめ}雨が^ふ降ったとき、^{まわ}周りの^{ようす}ようすは^{へんか}どのように^{へんか}変化するでしょうか。

そして、わたしたちにどのような影響^{えいきょう}があるでしょうか。

つぎ 次つぎのページをみて、わたしたちがとるべき行動こうどうを考かんがえてみましょう。

【こんなとき、どうしたらよいかな？】

ひと
はな
ひと
き
 おうちの人とも話しあって、一人でいるときのことを決めておきましょう

- いえ 家いえにるときに、「はげしい雨あめ」が降ふってきた
- ともだち いえ なら ごと いえ い が い 家以外あめで、「はげしい雨」がふってきた
- そと 外そとにるとき、いつも通とおっている道みちに、水みずがたまっていた

- おうちの人と連絡をとって、すぐにやむような雨かどうか調べてもらう
- ながびくような雨のときは、今いる場所が安全なところか、おうちの人
やいっしょにいる大人に確認してもらう
- 安全でないときは、大人といっしょに、安全な場所に移動する
- いつも通っている道でも、水が深くたまって足元が見えない場合は、
無理に通らない（通らざるをえない場合は、傘など長いもので足元を
確認しながら、いっしょにいる人と支えあいながら進む）

P36 わたしたちが、^{いえ}家や^{がっこう}学校でできる^{りゅういきすい}流域治水の^{とりぐみ}取組は^{なに}何があるでしょう
か？ ヒントは、「^{みず}ふだん、^{みず}水を^{おお}多く^{つか}使うこと」「^{みずがひ}水害へのそなえ」です。

- 大雨のときは、お風呂のお湯を流すことや洗濯を後にする（家庭から流す水の量をへらす）
- ハザードマップを確認したり、避難の準備をする、避難のためにどんな情報を確認するか前もって調べておく
- 川について知る活動に参加する（いきもの調査や、川遊びなど）ことで、川のめぐみをうけながら、気を付けるべきことを知る

メモ

[illegible]

と き が わ し ょ う な い が わ り ゆ う い き ち す い き ょ う ぎ かい
土岐川・庄内川流域治水協議会

こ く ど こ う つ う し ょ う ち ゅ う ぶ ち ほ う せ い び き ゃ く し ょ う な い が わ か せ ん じ む し ょ
国土交通省 中部地方整備局 庄内川河川事務所